

番
六
五

和書門				
一	二	一	七	一
冊	架	函	號	類

288 內閣文庫				
八	七	一	七	和
函	二	冊	五	書
一	五		六	
架	號	類		

兵法三

武備兵法

內閣文庫		
番號	和	17256
冊數	1	(1)
函號	189	288

卷六



香江のふりきり



久松義之丞 河内守 又ハ之
秋三幸縣車都ハ 大平中 建強新ハ 火大 在日
天一美 中 阿幸 今 西所 志 平 志 幸 人 火 大 在 日
平 志 幸 人 火 大 在 日 志 幸 人 火 大 在 日

思松明書

奥及家衡武衡金沢柵籠家衡同人也羽住置賜四郎紙老鴟
飛是紙寫し糸、樂松明ヲ付城中に各翰ヲ送テ夜討ヲ進
家衡カ印府ヲ用テ證トス

平岩親吉云置賜カ用鴟老紙ナル松明傳文ナル者ナシ
才一義仲郎等今并四郎永二年法住寺合戦ノ氏彼松明ヲ用
焼法住寺殿軍勝多リ大永年中鉄炮渡後ハ火矢ノ葉法盤
多ク置賜カ丈夫可奇妙急平又ハ之

浅草文庫

烏帽子の事

一 昔ふれみごとさうごまうて何うくけさう物のた
たきうすうく包充たふれはとにうてお也

明乃火れ度

一 布をいへう三千日納さしし三ツグうようひ二守
長みすの竹れい向を二ツ割七中へ在の布と入縄
毛とと玉うく漢七上のりうく納焼取取出しとせ
ふい包上と縄うく強持へ

二方

一 筆ノ皮を焼くしを板うしし少端を黒焼、足毛ら
の裏をすい木の黒焼板を焼右とと食の取端



て移し置き、右之策を入、口傳をえ

筒の火入れ

一 布を能くし、二ツく、ろひ、籠く筒の口へ入置之に
扱、仰、口傳をえ

不ふらね

一 モクサ、指、塩、硝、丸、太モクサを能く、水、ま、く
さ、し、口、千、右、の、塩、硝、を、合、て、水、を、入、煮、付、て、持、

目方

一 アカザ、灰、拾、り、塩、硝、指、り、松、原、紙、或、後、取、モ、モ、ク、サ、拾、り、
水、モ、成、能、し、テ、右、能、く、合、用、し、

巾着、不ふら、乃、更

一 布、た、り、ま、さ、れ、た、り、布、を、く、と、本、綿、を、も、堅、く、籠、ま、る、ひ
一 火、を、付、青、竹、を、切、座、を、入、右、の、火、と、ゆ、り、隨、右、の、竹、
は、入、て、消、り、く、切、ぬ、く、を、し、て、金、ハ、火、消、え、其、時、座、を、取、
き、棒、を、入、座、を、突、出、し、巾、着、を、皮、く、籠、一、通、し、け、り、
一 柄、押、込、巾、着、を、行、い、く、巾、着、ハ、丸、り、能、く、入、り、得、る、

火、い、け、柄、の、更

一 大、た、で、せ、り、火、籠、ノ、提、り、の、生、木、を、く、と、指、寸、を、も、能、く、
一 よ、切、灰、を、提、り、小、口、ハ、火、通、右、の、火、籠、を、掛、置、ハ、何、時、と、も、
火、を、く、え、煮、の、よ、と、可、能、に、

火、持、や、れ、更

一 松、原、を、火、籠、し、く、ぬ、の、う、と、移、り、置、人、目、子、火、を、行、
用、

一 熊野ボツチニ火掘る方 火打石 五 硫黄 五 方 生臘 五 方
セロイ 五 方 灰 五 方 龍腦 五 方 下 松 引 粉 同 粉 五 方
右 方 一 方 ね の あ ま ち ぎ せ ぎ じ 其 什 も 堅 二 寸
但 小 刀 も け け ち も 八 寸 尺 火 出 れ

けつり火の事

一 馬 指 五 方 硫黄 五 方 灰 七 方 イウ 八 方 生臘 八 方
右 粉 一 寸 調 合 一 寸 小 刀 一 寸 傳

万日火の事

一 熊野ボツチニ火掘る方 龍腦 五 方 松 指 少 セロイ 五 方
少 灰 五 方 生臘 一 方 下 松 一 寸 粉 五 方 傳

右 何 も 能 粉 五 方 松 一 寸 七 寸 七 寸 硫 酒 一 寸 七 寸 七 寸
石 七 寸 七 寸 合 一 寸 小 刀 一 寸 傳 有 り

義經火

一 牛の白角をうすく削り 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸
指 一 寸 水 金 一 寸 蓋 一 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸
子 所 へ 出 し 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸

むしが火の事

一 熊 二 寸 五 玉 一 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸
七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸

むしが火の事

一 熊 二 寸 五 玉 一 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸
七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸 七 寸

石玉と入示業と入石玉と入一重宛如是一と口火は
水火宛とさう一城中へさうまふうけ入ル業ハ常業

筒乃火より相火と知ル

一筒に火よりし火綿の星籠へ竹の筒へ入寸法を
時と知ル口傳

かすし地車

一胡神二両目林二両丁子二両セルクズ
大形よりし薄箱は包く口傳

付火代更

一揚結拾々硫黄五々松指ササ松引粉二々
右筒よりし竹の筒へ入用ル口傳

牛乳内乃火の事

一生脛ニ夕ニヲ交ヤ合九ノ火ヲ付持也

同方

一上ニ五々硫黄五々灰二々松指五々生脛二々

右薄糊トシヤナウニテ堅クシテ能ク手内ニ持也但
ナゲサニ火ヲ付ル也

夜討天文火の事

一生脛五々ハト二々古酒五々塩硝拾々硫黄ニサ龍脛九ト

ヨモキ五デ計三拾々

一右粉ニシテ紙代袋入口葉ヲサシ葉方ニ成候矣
付ル也口傳

矢倉ヲトシ夏

一 瓦拾貫 硫黄ハ八龍隠ニト灰四鉄三
右長ヲ二寸程竹筒へ入矢ニ付ルヤ

矢みれ事

一 矢みの相違ハ抽の寸又才尺配ニテ書矢ニ付ル
又フシカ子ニテモ書ヤ

熊坂火の事

一 硫黄細ニシテ麻中へ入五拾本程結構ヤ得

大勢向時鎗ニ付火

一 瓦七五ト イカ五ト 灰十鉄十カニ書ウ 胡椒
右鉄カハ油漬ハ黄テ竹ノ筒へ突込只菜ニ布二尺

仕物捕火の事

一 塩拾貫 硫ハ八灰ニ鉄四カヲシニト五厘 胡椒
右何モ半ヲ口ニ竹ノ筒へ突込用ニヤ夢想火ノ名

同方

一 硫ハ八塩硝拾貫 鉄四唐カラシニト五ト 灰或ハ胡椒
右粉ニシテ仕掛柳太ノ菜ヤ

夢想火の事

一 瓦拾貫 硫黄拾貫 龍隠四ト生隠五ト 灰五
右竹筒へ込節魚キ方ハ紙込節ノ方ハ穴ヲ明
口菜ヲサス也

日方

一 是或イナク 灰ニ生懸お龍懸お唐胡お何モ振口系

仕物しやひ火

一 塩燭しやうイワウあ灰あ生懸お下お右粉みシテ長サあ五寸計ノ竹筒あ上皮ヲ削リ其上ヲ紙ニテ張長サ一尺五寸ノ矢ノ羽ヲ付ケ内へ不入あ時外ヨリ飛今敵ニトリ付スルヤ筒ノ振後あ客羽ノ仕柳口傳

年木火あ車

一 是あイカク 灰ニあ大あ蓮あ

木ヲイタセハ一尺ハサヤ

年木松明之夏

一 ニアノクノ木ヲタキキヒシキ塩燭あ水三種入右ノ木ヲ漬シ七日合程あ于硫黄あ粉あ振カケ廻リ六寸程あクあリ込ヤ上ヲ紙ニテ張あハキ火口あおあ松明ノ葉ヲ二寸程あクあリ込ヤ

仕物鉄炮あ車

一 綿ヲあ元メ糸ニテ唐カラシテ粉あシテ綿玉ヲ水あ引上テ唐カラシテあ筒あ込ヤ但常ノ葉ヤ

日方

一 丑ニ九ノ下 胡棟ニテ 鉄ニテ

右何モ能ヲロシ玉ニシテ上ヲ糸ニテ也キ用ル也茶ハ常ノ葉也

又方

一 筒ノモサセテ口傳ニ

一 硫黄ニ塩拾々一灰ニテ鉄ニ

玉ニ綿ニテ包ク玉ニ四ノ口ト也口傳ニハ袖ノ内鉄ニテ

又法

一 塩九ノ硫黄ハト灰ニ

右能ヲロシテ玉ニ包キ上ニ真綿ニテ包キ上ヲ糸ニテ包キ也茶ハ常ノ葉也口傳

大勢向時振松明

一 廿竹ニ七日川ニサテシ是竹ノヨヘ硫黄粉ノ入拾四本
ユイ長サニ尺五寸ニシテ持也

十二ノイ松明ニ夏

一 檣ノ木ヲ削リ掛ケ長サ八寸ニシテ三寸廻リ也縄ニテ三
取ユイ左リムスヒニシテ軍中吉凶災瑞ルト云也何ノ
松明モ如此ユイ持也是松明ノ根本也右ノ松明尻ハ
四寸ノ針ヲ抄手裏釘ニウツ也紐四方ニシテハ金ニテ
振也口傳ニ焼茶ヲ少クリ持也

松續松ノ事

一 五松ヲ細ク割五寸廻リニ長サ二尺計ニシテ持也

衣松明作り

一ヨシ五木程、木綿ヲ毛松指ヲトキ上ヘヌル也

松明の事

一松ノ皮ヲ厚クヘキテ硫黄粉ニテシヤウキウニテトキニ

三编程ヌリテ結持也

燭松明

一一旦ハ分生懸ニテ硫黄ニテ塩燭ニテ松角指ニ

右燭ノ如ク子リク、ル也

梢松明

一長サ三尺幅を尺一寸厚サ六分ノ板ニ表ノ方、サニテ通

步釘ヲ三本步松明ヲ括込裏ノ方、取キヲ付也

サニテ切取込者之時

時雨松明作り

一指燭カミ硫黄ニテ灰ニテ硫黄ニテ松列指セヌ

モリサニテ

松明常ノ振柳竹ノ筒四ツ、刻上ヲサリ繩ニテ屯

堅ク突込切取出し紙ニテ張持取竹ノ筒三寸五分

ニシテ其中へ松のヲ入釘ニテ留め上ヲ紙ニテ張持

也常ハ竹ノ筒へ入テ置が吉

愚松明の事

一指ニテサリ硫黄ニテ灰ニテサリモリサニテ牛ノ毛

松角ニテサリソフニテサリニテサリ

ク、リ柳右のり 右ノ松の葉外何ノ松のニテモ半ヲ口
シト無キ方ハ成ホトヨクヲ口ニ行 込也久松のヨリ
其段ハ口傳タレニ有ベキ一也

水松の事

一 是ヨト 生腔^{サト} 灰^{モウサ} 且^{カト}
右ヨク粉^{シラ}竹ノ筒入^壁 更^込竹ノ上^皮ヲ薄
カウ迄^割リ紙ニテ張^リ持^取ハ仕^身也口傳

軍中雨降リ用ル大松の

一 塩^燭 灰^松 ^{右ニ也} 硫^ニ 生腔^{五十七}
右ク^リ柳^{トリ}モ^千油^ニテ^子バ^クノ^べ右^ノ葉^ヲ合^テ
子^リ布^カ木^綿 ^{カラ}度^サ ^モ尺^長 ^サ三^尺 ^切右^之葉

此ヲヌリ^角也^シニ^三麻^木ヲ^或拾^テ程^リリ^合藤^カツ
ラ^ニテ^花用^ル也^毎火^ニ置^時ハ^三方^行
テ^上右^ノ松^ノ置^也口傳

きうやう松の事

一 塩^ニ生^腔 ^モ灰^拾 ^モ松^骨 ^モサ^六
唐^ノ土^ヨ ^ケス^ニ ^三百^々

右ク、リ柳、常ノ松のニ

日暮松の事

一 生^腔 ^イ拾^テ ^灰 ^モ生^腔 ^{サト} ^松 ^骨 ^或
右ク、リ柳、水松のトリ也^{ヤウ}子^ウニ^テ堅^也

堂火の事

一 是ハ又 灰砂 二フ又 イハ又 生懸 松馬ツシ

一 右ク、リ 横口 傳る

熊坂松の事

一 塩サる 松音 二フ又 綿 三フ又 下

一 紙ボク 二フ又 イサ又 下 灰 三フ又 下

一 馬 三フ又 下 松 引 筋 三フ又 牛 糞 三フ又 下

一 右ク、リ ヤウ 常ノ 松 引 筋 三フ又 細シヤウ 千ウヲ入

村の松の事

一 是ハ又 イサ又 生懸 三フ又 灰 三フ又 下 ソフニナ

一 モツサ 三フ又 松 引 筋 三フ又 馬 糞 三フ又 下

ク、リ 横 右口 三フ又 シヤウ 千ウヲ入

卯の松の事

一 塩 硝 下 三フ又 硫 三フ又 灰 三フ又 生懸 三フ又 下

一 松 引 筋 三フ又 三フ又 三フ又 三フ又 三フ又 三フ又 三フ又

一 右ク、リ 松 口 系

熊坂松の事

一 是ハ又 イサ又 灰 三フ又 下 三フ又 生懸 三フ又 下

一 鼠 三フ又 三フ又 三フ又 三フ又 三フ又 三フ又 三フ又

一 ク、リ ヤウ 右口

三里の事

一 是ハ又 イサ又 灰 三フ又 下 三フ又 生懸 三フ又 下

右之機案此方の事

一 戸を拾ふ 灰より 相やこりて 一口を食ふ 虎より

矢倉の事

一 五町に道や 五五守道城に

四町に 五町に 二町に 或人守

相寄の火の事 野路に

一 戸を拾ふ 灰より 硫より 虎より 生肥より

大竹の筒小口指後 内法七方ヨリ九方迄筒ノモサハ 一分を拾ふが、リ 長外板板万事ハ大團火矢口氣矢

倉石ハ三尺ノ竹ニ木末、指後一寸幅ヲ入仕裁也

煙野路次の事

一 桶ノ蓋を拾ふ 口ヲ大に開く 四方

大ら方一トハ口ヲら束ナラズ 其方二根ノコト入に得ん 大ら方ヲ合ヤ 其中一鉄炮ノ葉ヲ拾ひ 籠入にラ 火ヲ能ナリ

弓火矢の事

一 戸を拾ふ イハ 鉄より 灰より 龍胆より

右矢ノ身 射れく、リ 板屑色々

ほぐけ 塩炮の事

一 廿竹ヲ二方ナ 玉の入程成テ 削紙ニテ 池上ヲ糸デ 走ルニ迄 程ヌルヤ 十挺カラニ 口傳

太竹等ノ筒古抄後、因法方、筒一、實込
上ヲ、ウスヤウ造、削紙ニテ、後リ根ニ守、程ノ釘
ヲ、所ナシ也

けー 杉ノ事

一 塩焼 拾、硫拾、灰、或、生、肥、拾、馬、糞、二、
三、
二、
太、ウ、リ、物、考、杉、ノ、系

桶名火相明

一 二、拾、馬、イ、拾、或、ト、生、肥、九、或、ト、灰、或、ハ、ト
馬、糞、或、ハ、ト、二、フ、或、或、ト、引、糸、或、ハ、ト、モ、サ、或、ハ、ト

義經名火水松明

一 二、拾、馬、硫、拾、五、或、灰、二、或、ト、モ、サ、或、ハ、ト
引、糸、少、生、肥、二、或、ト、杉、ヤ、二、或、ハ、ト、馬、糞、或、ハ、ト
右、ウ、リ、柳、水、松、明、ノ、系

万月松明

一 二、拾、馬、硫、或、灰、或、生、肥、拾、或、モ、サ、或、ハ、ト
龍、胆、或、ハ、ト

右、ウ、リ、柳、常、ノ、松、明、因、系、也

極

大國火矢の事

一 是ニテ

硫黄 灰 生肌 骨 骨

右ノ指板ノ大國火矢トハ新ワリ合ハレ

右ノ焼草の事

一 是ニテ

灰 生肌 骨 骨

右ノ引物ニテ

右ヨリヲ口ス

右ノ矢倉の事

一 一町

二尺 一と丁五五 二尺二寸

二町

二尺一寸一と丁五五 二尺一寸

三町 二尺一寸 一四丁

二尺

四町半

二尺一寸

五町

二尺一寸 一と丁五五

二尺七寸

七町

二尺八寸 一八町

二尺九寸

右ノ矢倉遠山ノカ子ノ見合口傳有之也

袖の内仕物鉄炮

一 玉目ニテ下ノ竹ノ筒長サ七寸ニシテ上ノ皮ヲ削

紙ニテ捲リテ巻其ノ上ニテ紙ニテ捲ニテ玉目

テ火口ヲアケ常ノ玉目ニテ袖ノ内ヨリ折之亦生取有

ニハ玉

是ニテ

鉄 四丁

一尺一寸

一
卅
拾
日

イ
五

欽定四庫全書

右半才已抵現用須仕物生更史卜口糸之

稻妻水松明

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十

一
拾五

和月粉五斤

原方

楊梅皮 五
生肌 五
風靈 五

右より扱水相口系也

義經名火相の事

一
五拾四下

庚子印卜

硫 十四分 下 硫黃 六分 七上

馬鹿つるふて

招名

生癭十九日 七クサ 去冬下

粉ニシテ胡テノ油ニテシヤウナウモ入ルホ分

二 五 下
川 桑 下
杉 下 五 下 紙 桑 下 下

右ク、リ、
 次、常、
 相、明、
 口、糸、

鐙所松明のこと

一 旦に其方角。

庚五

硫黃十五斤

モクサニ

馬書

龍臺寺
松門
中

右指如、常、おねの口糸こしテ、ハ、ヲ指後、二寸五分厚
之方、木テ元也、色、口、傳

寺一里松の夏

一
二
十八

イ
松石

瓶
香

庚子

生炁十八分

抄寫

モリサ

右取次常ノ取次口系

狐火取次口系

一 丑 九 亥

灰 二 五 亥

硫 黄 九 亥

馬 二 亥

生 肥 十 六 九

硫 黄 九 亥

硫 黄 九 亥

川 炭 少

生 肥 十 六 九

二 五 亥

大 小 二 五 亥

万 石 取 次 口 系

一 丑 九 亥

硫 十 五 亥

生 肥 十 五 七 亥

灰 二 亥

大 小 二 五 亥

モ 九 亥

硫 十 五 亥

硫 十 五 亥

大 小 二 五 亥

右 取 次 口 系

一 丑 九 亥

硫 十 五 亥

灰 二 亥

生 肥 十 五 亥

馬 二 五 亥

古 酒 二 五 亥

大 小 二 五 亥

和 取 次 口 系

一 丑 九 亥

硫 十 五 亥

灰 二 亥

馬 二 五 亥

生 肥 十 五 亥

二 五 亥

大 小 二 五 亥

水 火 繩 の 事

一 丑 九 亥

火 繩 二 五 亥

大 小 二 五 亥

和朋茶味加減之事

- 一 塩燭 増セハ 火赤クツヨクナル
- 一 硫黄 増セハ 火青ク強クナル
- 一 生脛 増セハ 火白クヤウラカナル
- 一 灰 増セハ 火 ヨハク ナル
- 一 炭燐 増セハ 火弱クナル諸茶ノ通引茶ノ
- 一 和名引粉ハ 火ノ脆^{ヒキ}ノ白キ者ノ
- 一 馬書 増セハ 火ヲケス
- 一 和脂 牛膏モクサ モシホクナ 右火ヲモツ者ノ
多ク増セハ火ヨクナルノ
- 一 右之通ヲ考加減スシハ如何様成和朋モ出来仕モノ

口傳有之

和歌

和歌

一 二寸四寸

硫黄 七五

灰 九

生脛

和歌

辰砂

右ノヲ見竹筒小口指後ニテ寸カリ一カニフミヲコメ
ぬちノ茶ヲ一寸五分成程堅ク込其ノ上ヨリ鉄分分右
茶ヘニセニ寸五分堅ク込ソレヨリアラ灰見合火ニセ
少ヤウラカニテ寸五分込右小口ニ分半ノ積也右ノ込
和筒ヨリ口傳和筒矢ノ片ル茶火倉ノ事

車系ノ根煙口系重口傳

玉の形ノ事

一 丑ノ十日 生懸ニ 一 丑ノ十日 生懸ニ

大半ヲ口し竹ノ筒ニ堅要込取出テ切方ノ一切
竹紙ニテ包たの形ノ事ニツ成テ三ツ成テ入込テ
其上ニ鉄砲ノ革ナリ込其上ニ常ノ野路ハノ革
込口傳

雷電

一 丑ノ十日 硫 硫 鉄 灰 或

胡椒ニ 唐カラニ

大半ヲ口し折所右ノ方入口系折所鉄砲ヲ三方

ニ仕裁火ウツリ筒ノ根折ハツケテ采ウ口系也

小高水折所の事

一 塩ニ 硫 硫 灰 引 系

根折ニ 生懸ニ 硫 硫 灰 引 系

硫 硫 灰 引 系

大ク、リ 水 折 系

硫 硫 灰 引 系

一 塩ニ 硫 硫 灰 引 系

硫 硫 灰 引 系

大ク、リ 水 折 系

水 折 系

一 丑ニチヨ

硫黄ニテ灰ニテ

生肌ニテ

モクサニテ

硫黄ニテ灰ニテ

生肌ニテ

タリリ水ニテ

かけり

一 丑ニ拾日

硫黄ニテ灰ニテ

生肌ニテ

モクサニテ

硫黄ニテ灰ニテ

生肌ニテ

牛フコニテ

タリリ水ニテ

かけり

一 丑ニ拾日

硫黄ニテ灰ニテ

生肌ニテ

モクサニテ

硫黄ニテ灰ニテ

生肌ニテ

龍腦少

太クリ水ニテ

秋の月

一 丑ニ拾日

硫黄ニテ灰ニテ

モクサニテ

硫黄ニテ灰ニテ

タリリ水ニテ

一 丑ニ拾日

硫黄ニテ灰ニテ

モクサニテ

支那附二卷

漢水等の事

一 是ナキイナキ 生能ナキ 灰ナキ

三 是ナキモリナキ 越野ナキナキ

中ナキモリナキ 杉引粉 ナキナキ 炭ナキ

太くくり板石

綿糸の事

一 是ハキ 硫ハキ 灰ナキ モリナキ 炭ナキ

生能ナキ 杉引粉 ナキ 炭ナキ 杉引粉ナキ

太くくり板石

加減は名の事

一 塩一ナキ 硫一ナキ 土砂一ナキ

燭の事

一 杉引粉ナキ 三ナキ 灰ナキ 塩ナキ

右ハ油ナキ也 炭ナキ

風松明の事

一 是ナキイナキ 灰ナキ 生能ナキ

三ナキ 炭ナキ

名ナキ 炭ナキ

燭の事

一 塩ナキ 生能ナキ 灰ナキ 杉引粉一ナキ

杉引粉一ナキ

一塩拾々 硫拾々 生脛七々 灰或々
馬二二々 引粉一々 モクサ一々 松名一々

一塩十々 硫十々 灰二々 引粉二々

生脛七々 三二々 松名二々 モクサ一々

ら唐草二二々

大ク、リ松何モ口徳ニテ子リ一ツニシテク、ル水松何日
有ク

くぬま松何の事

一クヌ木ヲ割 油ヲヌリニメ用ル之結灰等
雨松何乃事

一塩八々 イ七々ト 生脛七々 灰七々

松引粉七々 モクサ十々 苧クヅ二々 炭二二々

右ク、リ松水松何の事也

けー松何の事

一馬十々 イ十々 灰二々 生脛十々

馬二二々 一ツ二々

大ヨクヲ口シテ常ノ松何、如ク、リフキケシニヨシ

きゑぬ松何の事

一馬八々 イ八々 灰二々 生脛十々

馬二二々 二ツ二々

大ク、リ松何の事

松何

左寸三厘

一 塩すき

灰すき

硫すき

生肌すき

馬つこう

硫すき

松やこすき

松引粉すき

モウサ一五七下一うすき

大考ノ松のり糸但し胡麻ノ油ヲ子リ竹ノ葉連
取出し上ニ紙を貼ル

飛松屑の事

一 馬一斗

イ式すき

松やこすき

灰すき

松引粉すき

右ハ焼葉也

一 二寸

硫すき

灰すき

生肌すき

右ハ通草也

右山同毛多毛多合毛何毛松枝松意ノ大國火灸同
毛之相合ノ野路次ニ毛者

ケツリ用心火の灸

一 松ち石すき

馬一斗

二下 松引粉すき

松やこすき

松引粉すき

生肌すき

龍胆すき

松系ホウキ少セニイホ馬鹿少

右細末ノ五葉ノ松ノアニハダヲ水ニくく入半ニ煮之皮ヲ
ステ其煮けヲ煮之松ノ皮ニ煮之其煮けニステ後石ヲ入
カタル之是也同ニケツリ火ト云ク

赤松明の灸

一 此ノ木ヲ長サ一尺中ニシテ細ニワリセリカケニシテ本ヲ
ニ不結ト云ル所ヲ也但云ル所ヲカ子ニテ打也

所方

一 長サ寸ニヒノ木ノケツリカケ九繩ニナイ結ニ目ヲ九結
ニシテヒリ釘金ニテ打セリくすハ守く及入眼用也

水上飛船の事

一 長サ寸ニヒ 鉄口ト 硫黄ト灰質ト下生肥ト
くり柳口傳

飛船の事

一 長サ寸ニヒ イヌ 灰質ト 硫黄ト口ト
生肥ト方 龍眼ト方

振柳大團火矢の事

一 半ヨロシ筒ノ振度ニ方火口ヲ四ツ目ギリニテモ二サ一葉
ヲサシコム也町口傳五丁ノ時ハ矢ノ長サ四尺長サ二寸筒
ノ長サ一寸振度ニ方羽ノ長サ一寸く

弓火矢の事

一 長サ寸ニヒ イニヒ 龍眼ト一サ方 右方無益ヨリ不吉

同方

一 長サ寸ニヒ イヌト 灰質ト 杉指ト

一 長サ寸ニヒ

熊ノイニ方



右長サ五寸ノ筒ノ入火ヲ付ナケ込メ矢ノ長サ七寸
くり柳底ニ寸ハ銃葉ヲ込口ニ寸方ハ口葉ヲ込葉ヲ振

ノ方（つ）ニ此方ニ火ヲ行ハ

一 クヌスヲワリ油ヲヌリテユイ持也

一 水相酌の事

一 一ニ二日 引糸少 硫黄多 炭少

一 一ニ二日 相酌一多 生臘少トモナシ

一 一ニ二日 相酌一多 生臘少トモナシ

一 一ニ二日 相酌一多 生臘少トモナシ

一 ナリニコカニキザニ得入屑多

一 筒ノ火れ多

一 松系ヲ細メ水ニ 日程置 且後上ヲ 日ニテ

キニシテ火ヲ行ヤウ 行ハテ細ニキサシ入イツレモ合
竹ノ筒入用也

一 一ニ二日 相酌一多 生臘少トモナシ

一 一ニ二日 相酌一多 生臘少トモナシ

一 一ニ二日 相酌一多 生臘少トモナシ

一 一ニ二日 相酌一多 生臘少トモナシ

一 一ニ二日 相酌一多 生臘少トモナシ

一 一ニ二日 相酌一多 生臘少トモナシ

一 一ニ二日 相酌一多 生臘少トモナシ

一 一ニ二日 相酌一多 生臘少トモナシ

竹籠火の夏

一 戸に於て 硫八十斤 杉引粉 廿斤 三廿斤
毛ウサチ 生脛 貳斤 丹サ灰 廿斤

一 塩 生脛 五斤 錫ス 見合 少入

一 生脛 百斤 唐土 四斤 丹 四斤 三 廿斤 十斤 少入

一 伊列云 方 布方 雨風モ告

一 塩 硝 廿斤 硫 四斤 灰 十斤 杉引 廿斤
引 糸 於 方 硫 一 五斤 生脛 二 五斤

布方

一 戸に於て 硫 廿斤 生脛 二 五斤 丹サ 灰 廿斤

右 振 振 子ウニテ 子リカタル 右何レモ 四所 余
程 見ユル 秋ノ夜一時 子ウニテ 有之

右 懸 束 付 夏

一 戸に於て 生脛 於 灰 少入

右 ヲウロ 籠 火ノ小口 掛 置 久敷 置 六ウニシテ
望 ヌル 也

籠 火ノ方

一 生脛 百斤 十ヘス 三 五斤 三 八斤 硫 二 五斤

一 右 四味 末メ 子ウニテ 子リウニ 筒 束 粉ニ
衣 スル 物 ヲクニ 用ユ

龍續松

一生懸下り

五二五

イナ

右二色ヤウイワウ二色ハ別ニヲロシ後ニ生懸ノ中へ少
ツ入能ヲロス也三色音無程ニヲロシ少クテニ
ル生懸ハ板ノ上ニ置テ少ク余ノ板ヲ以テ上ヨリヲシク
ツキヒタトスリテ細ニスル其後右ノ二色ノ葉ハ合
ヲロスルヤケニテ常ノ如クヲロスト一ツニ堅ニリ中々ヲ
リルナシ

右ナルホト細末ノ竹ノ大サ指後ニ寸セサニ寸ナ竹ヲ
切上ヲウゼヨリニテ巻ニ色ノ葉ヲ少ク入強クホ込
竹ヲハナシ火口ヲ不ニイワウヲヌリ上ヲ紙ニテ糊

ハル久敷置度眼ハ右ニ色合タル中へヨク調合メ少
ツ能々ツキ込メ竹ヲハシ小豆ヲヨク細末ノ振カケ
其上ヲ紙ニテ張其上ニ蠟ヲ少ナガシ掛ケ置メ但アツキ
ノ粉ハ右糊ヲ和メ厚ク入ル但ニ紙ニテ張タル上ハ
蠟ヲヌリタル方ニテハ其ハトケ可申ヨクタシニ可
有之口傳 右ニ色ノ中へ和ヤミヲ入ル也是大事ナク

かしながい

子ムリ菜

一 うゑごら 根はー粉にして 大 少

ひととー 根を水に浸し 少 大 印も粉にして 粉

子ムラヌ菜

一 せうー 根をのちへ上を紙で包み 口傳

子ムラザル 粉の

一 子ムケツキ 根をのちヨリニ 鼻をセリヒタトクサメタス
へし子ムリ サメルモノ也

おひ散粉やめ菜

一 子ムアノ根 根をのち 粉にして 口傳

根菜少 口傳 かん

地 かん

かん かん

かん かん

かん かん

かん かん

無明菜

一 白芷 生ニテ 唐カウシ生ニテ 鼻草 口傳

小神 粉ニテ 麻ノ 灰 各両

右粉ニシテ 調合 玉子ノカラ入ル 但し 所ノカイ子ニ 穴ヲ

アケ 是穴ヨリ 右ノ粉ヲ 入穴ヲ 紙ニテ 張テ サテ 印ヲ ツカ

こじきテス等モ持テ風上ニ立歟歩行ヘシ又ヤリニ
付ルトキハクサリ籠ヲカク振テソレヘ玉子ニ斗入テ
鎗下ニ入ル也^ハ但し緋ノ長ハ悪シクサリ籠ブラ
〜イタサヌヤウ^ハ柄キスト^ハカ昔相我^ハ家^ハ身^ハノモノモ
右ノ合衆ヲモタセ^ハ衆等モ^ハ敵ニナケ^ハ付サセヘシ^ハ右ノ
某方^ハ向ノ者^ハ日ヲ^ハマワサ^ハバ^ハ虎ノモドシ^ハ某ヲ以テ可生ス
モドシ^ハ某ノ方

一梅子ノ肉ト生妻ヲ等分ニ押合梅程丸^ハ水ニテタ
テ、吞スヘシ水天日ニ半分計也右、二方下平氏
秘書ノ由ニテ貞享ニ於振列大坂之御城受
授致ス者也

飛車^ハの

一矢長サ四尺四寸羽長サ八寸筈六寸筒六寸旧法振
込ニ六寸火口十メシ皮ヨクイタメアテル也火口四ツ
メキリニテ三方モシ口某サス也

常^ハ用^ハル^ハの

一長命草^ハ莖ヲ能ク乾置テ折ヒシキテ衆等モヨセ
一^ハ東^ハテ能クイ火口、硫黄ヲヌリテトモスヘシ^ハお
程ヨクトモルモノ^ハ風雨ニ逢テモ不消ト云云

飛車^ハの之^ハ更^ハ

<sup>是ハ俗名ト云
トリ成</sup>

一竹銃^ハ砲也玉ハ十^ハし礮言ヘハ仕物スル時ニア^ハ我^ハ居テ内
ノ左右氣遣^ハ玉時右、^ハ相^ハ明ヲ持テ入^ハ戸^ハ口ヲ入トキ

世に傳へたるサツト合し内、居る者、カ、ル如ク、松のノサキ
ヲ鉄ニテ、板、可、有、込、某、ハ、大、方、ル、火、ト、曰、又、十、ル、へ、し
あ、方、傳、居、エ、更、ニ、テ、十、ル、へ、キ、モ、ノ、へ

義經小鷹之事

一、將、之、時、磬、ハ、猪、床、ニ、テ、モ、又、ハ、ク、ニ、テ、モ、鐵、ニ、テ、突、伏
突、通、サ、ハ、其、將、タル、此、ヲ、其、所、將、テ、不、可、居、向、へ
直、投、擲、へ、し、板、刀、ヲ、モ、又、ハ、何、ニ、テ、モ、死、抵、リ、可、安、々
通、サ、レ、テ、物、ニ、ク、ル、フ、ト、キ、我、ト、某、外、ヨ、ハ、ル、モ、ノ、へ、是、古、也
之、傳、へ

口傳

松のハ、常、に、結、習、リ、一、草、が、滅、シ

見、人、在、テ、其、等、モ、結、ト、キ、ハ、自、ラ
夕、レ、ス、ル、リ、ハ、兩、方、モ、亦、ハ、大
用、ヲ、示、ス、ト、可、心、得、リ、口、傳、へ
口、傳、モ、コ、ロ、に、可、知、リ、ハ
込、ヤ、ウ、モ、曰、ハ

